

こたえ

分数の大小と間の数

はってん
発展 ②

- ① 小さいじゅんにならべましょう。

$\frac{1}{2}, \frac{2}{3}, \frac{3}{5}$

$\frac{1}{2} \rightarrow \frac{3}{5} \rightarrow \frac{2}{3}$

$\frac{3}{4}, \frac{5}{6}, \frac{7}{9}$

$\frac{3}{4} \rightarrow \frac{7}{9} \rightarrow \frac{5}{6}$

$\frac{5}{8}, \frac{7}{12}, \frac{2}{3}$

$\frac{7}{12} \rightarrow \frac{5}{8} \rightarrow \frac{2}{3}$

- ② 分子が同じ分数の大きさをくらべましょう。□に不等号を書きましょう。

$\frac{3}{5} > \frac{3}{7} \quad \frac{5}{9} < \frac{5}{8} \quad \frac{7}{10} > \frac{7}{12}$

分子が同じとき、分母が大きいほど、分数は **小さい**

- ③ $\frac{1}{3}$ より大きく $\frac{1}{2}$ より小さい分数で、分母が12のものを書きましょう。

こたえ $\frac{5}{12}$

- ④ $\frac{2}{5}$ より大きく $\frac{3}{5}$ より小さい分数で、分母が10のものを書きましょう。
また、分母が20のものを全部書きましょう。

こたえ $\frac{5}{10}, \frac{9}{20}, \frac{10}{20}, \frac{11}{20}$

- ⑤ $\frac{1}{2}$ と $\frac{2}{3}$ のちょうど真ん中の分数をもとめましょう。

しき $(\frac{1}{2} + \frac{2}{3}) \div 2$

こたえ $\frac{7}{12}$

おうちの方へ

- 3つの分数は、3つの分母の最小公倍数で通分してくらべます。 $\frac{1}{2} = \frac{15}{30}$ 、 $\frac{2}{3} = \frac{20}{30}$ 、 $\frac{3}{5} = \frac{18}{30}$ 。
- ⑤： $\frac{1}{2} = \frac{6}{12}$ 、 $\frac{2}{3} = \frac{8}{12}$ なので、真ん中は $\frac{7}{12}$ 。